

司法書士試験の概要

第1章 司法書士試験の受験科目

1. 午前の部の受験科目と午後の部の受験科目との違い
2. 択一式試験と記述式試験との違い
3. 試験の日程等

第2章 司法書士試験の出願者数及び合格者数

過去3年間の出願者数及び合格者数, 合格率

	出願者	合格者数	合格率
平成22年度	33,166	948	2.86%
平成23年度	31,228	879	2.81%
平成24年度	29,379	841	2.86%

※ 平成24年度の合格者数は, 筆記試験の合格者数です。最終合格者の数はこれと多少異なる場合があります。

第3章 配点と合否の判定方法

1. 配点

択一式試験は1問3点で210点満点

記述式試験は2問で70点満点

合計280点満点で採点される

2. 合格基準点

過去3年間の合格基準点

	午前の部	午後の部の択一式	記述式	全体の基準点
平成22年度	27問(81点)	25問(75点)	37.5点	212.5点
平成23年度	26問(78点)	24問(72点)	39.5点	207.5点
平成24年度	28問(84点)	26問(78点)	38.0点	215.0点

第4章 受験科目について

1. 午前の部 憲法(3問)・民法(20問)・刑法(3問)・商法(9問)
2. 午後の部の択一式試験
民事訴訟法(5問)・民事執行法(1問)・民事保全法(1問)・司法書士法(1問)
供託法(3問)・不動産登記法(16問)・商業登記法(8問)
3. 午後の部の記述式試験
不動産登記法、商業登記法各1問ずつ

第5章 合格までに要する期間はどれくらいか

1. 1年で十分だった人はこれまで多数いる
2. 何年かけても合格しない人も多数いる
3. 仕事を継続しながらの受験に障害はあるか

第6章 司法書士試験を目指すための意思決定

1. 司法書士試験の難易度を再検討する
2. 試験の難易度は各自が決めることである
3. 受験準備に入るまでの準備の重要性